

気流 U-25

読売新聞 2018 年（平成 30 年）7 月 31 日（火）

「おかえり」の声 聞きたい駐輪場

大学生 杉谷 美記 21
（奈良市）

今の時代は、A I（人工知能）の発達などで自動化が進んで便利な世の中になっている。私が毎日利用する自宅の最寄り駅の駐輪場でも、利用者の増加と管理するスタッフの高齢化に伴い、来年から自動化される。

駐輪場には、スタッフのお

っちゃんたちの温かな声があふれ、私たち利用者に「いってらっしゃい」「おかえり」と、自分の子どものように声をかけてくれる。おっちゃんとのたわいのない会話も楽しみで、第二のわが家のように感じる。

駐輪場は無人でもよく、システム管理は機械の方が確実かもしれない。しかし、世の中が便利な未来に向かう反面、人間味がなく無機質になっていくように思う。私は便利でなくてもよいから、おっちゃんの「おかえり」が聞きたい。

※無断転載不可